

アニメーション

「イザヤからの手紙ーイザヤの遺言ー」

by MARTH

製作発表記念



イザヤからの手紙

東への道 和する国へ

すべての争い（分かたれ）が終わる地

約束の地

分子から素粒子へ

分かたれた子から すべてがひとつなる世界へ

人類はとうとう目覚める

すべてが神秘の中

とわにつながっていることに…

腐食酸化のない想念の世界に…



*You will find them in connecting everything as one,  
even with a tiny one. You will find love, comfort, a  
happy life, lasting bliss, and prosperity with one being.*

## あらすじ

戦争が終結した昭和 21 年  
大阪・淡路へ渡る船着き場にて  
父に連れられ、船に乗る 2 人の兄と弟  
イサオとアキラ  
向かうは淡路  
神代  
洲本の港から約 1 とき  
父のふるさと 実家である…

そこは大和の地に降り立った  
イザイヤーが都とした地である…

その地に伝わるイザイヤーの遺言、伝承は  
ただただひたすら子孫たちに、  
和する国の民たちへ、一体なるこの世界の  
和することの大切さを伝え続け  
大和の子たちへ綴ったものだった…。

神代の地に、古代ユダヤの末裔である空海が残した書簡が  
古き空海が開いた寺、そして神社を守る一族の古き蔵から見つかる。  
ある手紙と共に…

そこにイザヤ氏を愛し、尊敬し続けたその末裔である悲しみの淳仁天皇のいう  
傷つけられても決して傷つけない、一体ゆえに愛をつらぬき通す色即是空の境地  
またそれは、ムーの靈感の書までがつながってゆく…。

1万キロにおよぶ

のちのシルクロードを必死に民は  
約束の地、東へと向かいました。

道半ば、途中倒れ、せめて息子、孫たちだけでも  
また友人たちだけでも、イザヤ氏の元へと願った  
父母、祖父母たちの物語が主題歌となっています。  
大地に倒れようとも、そこで果てようとも  
約束の東の地を目指す民たちがいた…

イザヤ氏は、天の橋立の港に案内所を設け  
13の民が迷わぬようにしたとも伝えられています…。

なにより民の安全と命を大切に願った  
古代ユダヤの長おさの美しき民を想う心が綴られています…。

イザヤ氏は、シルクロードの周辺国に  
民の安全を強く願い、依頼していったとも  
伝えられています…。



テーマ曲

「空と海の果てに」

「友を勝たせて」

「東への道」 MARTH

3つの主題歌で贈る 壮大な歴史ロマン

“空と海の果てに” “友を勝たせて”

“東への道” にのせて

この分子（分かたれた子）の世界をこえ

ひとつなる愛の素粒子の世界の秘密

色即是空、靈感の書の秘密が今解かれる…



### あらすじの続き

空海が開いた淡路神代の古き寺に伝わった  
1000年以上前の書簡が見つかる。  
そこにはとんでもない伝承が眠っていた…。

2680年前、中東の争いの中、そこを逃れ  
和する国を創るために1万キロをこえ  
移住してきた民たちの物語です。

そこには、  
イザイヤーナギードがのちの子孫となる民に告げる想いと  
古代ヘブライの人々の生きる糧である大切な和する想いが綴られていた…。

## 約束の地とは

イザヤ氏と民との  
かならず遠く東の地  
分かたれない人々の暮らすラ・ムーの地  
エデンの東  
我が心のふるさとで  
きっと きっと逢おうとする  
約束のことである

イザヤ氏は  
ずっと待っている民の身を案じ  
死するまで祈り続けた…  
この物語は、  
古代の長<sup>おさ</sup>の切なる想いを  
綴ったものである…



*We will never give up love however hurt we are.  
We will never abandon our friends however hard days are  
Yamatou will never abandon dear fellows.  
We will never abandon people of the world, either..  
I.naghid will never abandon the world.*

「イザヤからの手紙 - イザヤの遺言 -」

イザヤからの伝言 分かたれから和する民へ  
からだを失ってさえも…  
和する想い 民に伝えるもの…  
分かたれの深き悔やみと後悔から  
イザイヤーナギードの誓いは、ラームーと共通する悲しみが  
そこに見えてくる…。  
分かたれの世界から見えてくるもの

真に民を愛するからこそ  
それゆえに  
真の繁栄の法則である  
和する想いを伝えつづけた長<sup>おさ</sup>の想い…  
古代ユダヤの法 自我から無我へ

民を人類を愛するゆえに  
からだを失ってさえも  
死してなお 伝えたいと願うもの  
すべてのものは和するとき繁栄し成功する  
分離するならかならずみずからを罰し、苦しみ滅びゆく  
どんなときも神は一体を好み、分離、分かたれを嫌う

美しき神の子たちは  
いつでも分かたれのあやまちを犯したみずからを罰し償おうとする…。  
トーラーに記された 石版にも記された秘密。

それゆえに友よ  
そして民よ  
決して分離する（分かたれる）ことなく  
どんなときにも  
和する道をえらびなさい  
それがしあわせへの本当の道なのだ…

イザイヤーナギード




主のみちびきにより、あらそいをさけ  
遠く東の地を目指すことを決めたイザヤは  
フェニキアのエブス族の力を借り、タルシン船により  
大航海のすえ、現在の沖縄を經由し  
淡路島 神代に都を開いた。  
ときは紀元前 680 年頃のことである…。

人類は初めてこの物語で美しき愛の世界である真実に出会う  
分子・分かれたれの信念を捨て  
すべてがひとつなる素粒子（エーテル）の文明へと  
トランスフォームする…

MARTH の書き下ろした  
こころあたたまる魂のさけび  
ヤマトウーの民の使命とは  
今つくづく和する大切さを痛感する  
大スペクタクルロマン “イザヤからの手紙”

今、製作に入る！





和する国を目指して大和ムーの地への帰還するヘブライの民

傷つけられても 傷つけることなく

騙されても 騙すことがない

殺されても 殺すことなく

そこには支配も隷属もなく


人のふるさとに侵入する者もされる者もなく

過信も うぬぼれもない

争いも 競争もないゆえに

安らいだ美しき民が、そして世界の見本となる国が生まれる…

イザイヤーナギード




*We will never give up love however hurt we are.  
We will never abandon our friends however hard days are  
Yamato will never abandon dear fellows.  
We will never abandon people of the world, either..  
I.naghid will never abandon the world.*

## イザヤからの大和の子たちへの伝言

分かたれをもし信じて生きるならば  
みずからを愛せない  
近き人から愛されない  
真の友は去り  
みずからを罰し  
みずからを傷つける  
みずからを気づかせようとする  
ましてみずからを滅ぼそうともすることでしょう…

神の民ゆえに、その誠実さがとても強いことでしょう…。

それゆえに、分子の分かたれの子を今すぐに終え  
すべてをみずからとする境地に還り  
みずからを愛しみ大切にし  
幸せに生きてくれることを切に切に、大和の父は望みます…。



*This world is connected as one. Everything is one being.  
Everything is a manifestation of love, of God, and it is a  
beautiful dream of the subject of Creation, says ancient  
documents and stone tablets.*

## イザヤからの手紙 - イザヤの遺言 -

子どもたちよ、聞きなさい。

この世界は神がみずからの想念で創った世界なのだ…。

ゆえに、未来の人たちが素粒子と呼ぶ  
エーテルによって創られたとってよいひとつなる世界だ…。

そして、分かれた子である分子、物質の世界を生むには  
言葉というあらゆるものに名をつけるという想念による行為が始めに必要だ。  
そして、確信された信念が強固になることにより物質（分子）レベルを強めてゆく…。

だから、マントラを名とするラームーを<sup>おさ</sup>長とする東の地の人々は  
シッディやマントラ・スートラを駆使した。私たち預言者とと呼ばれる者たちも  
シッディの力で未来を見通し、過去へも行った。

古代に私たちの先祖は、遠く東の地において繁栄していた。  
しかし、言葉による知識と呼ぶものによって、分離（分子）分かれたが強まり  
世界はまたたく間に戦い、争いとなり、闇となった…。

そして、万物自然、神の怒り、みずからを罰そうとする  
その子たちの生み出す大きな天変地異が襲い  
逃れるために生き残った者たちは世界へ散った…。

私たちの祖先は世界へ逃れ  
ヘブライ・シュメール・フェニキアとなり、今で言う中東に生きた…。  
それゆえに、元をたどっていけば、本当のふるさととは  
ひとつなる東の果てに在る、和する国ラームーの地である。  
ゆえに、分離した戦いに疲れ切った私たちは、のちにそこを目指し、帰ることとなった…。



すべてが神の夢、ひとつなる世界であるゆえに、分かたれを嫌った神  
そしてその子たちがみずからを罰する物語こそ、トーラーである。

真言を名に持つラームーの靈感の書こそ色即是空であり  
形も色も、すべては空、無、想念、神と神の子たちの夢の中  
現実など存在しないという意味であり

永遠に未知で神秘なところにいるという教えこそ、大和の国の真髓であり  
それは私など実在でないという一体性のことにほかならない…

アブラハムの物語にしても、一体の中においては、すべての子が  
みずからの子であり、自分の子、他者の子などの分かたれ感は  
まったく存在しないというメッセージであり、モーゼにしても、すべてが一体ゆえに  
大人数のヘブライ神の民は、少数の戦闘部隊に追われてさえ、殺されそうになってすら  
その他と見えるみずからと一体の戦闘部隊を攻撃しない、滅ぼさないという  
兄を愛し続ける物語であり、その想いの時  
万物自然と創造主が愛の民を守るという伝承メッセージである…



ノアも同じことで、すべては愛ゆえにあらゆるものが一体なる神の夢  
シッディゆえに想念の物質化による一体の世界の中で分離した（分かれたれの）  
みずからをかならず罰する物語がトーラーには綴られている…。

ヨシュアにしても、他と見える一体の国に侵入し、奪い  
一体物を他と誤り、仮に犯し、殺し、奪い、支配し、管理し、奴隷とする愚かさを犯すならば  
北も南ユダすら滅び、破滅したとされたことを伝えるという戒めの伝承である…。

それゆえに、モーゼはみずからの国を持つとせず  
大地と共に幕屋で眠り、民もそう習い、五穀のマナで土を耕し生きた。  
武器など捨て、クワを持った。

神殿も幕屋で作り、すべてが分かれたれなき一体の地であるゆえに  
みずからの所有という価値を捨てて生きた。  
神は万物自然を愛し、幕屋を愛した。

すべてがひとつの中では、すべてがみずからであるからだ…。



一生を通じ、一体物同士が争う愚かさを、私は伝え続けたが  
名付けから生まれた言葉と五感、そして分かたれの子  
物質世界（分子）のため、そう見えてしまうゆえに  
人々は戦い、競争し、支配しようと愚かさを続けた。

そして、みずからを滅ぼしていった。

自己の拡大、分離、分かたれ、うぬぼれ、過信、劣等  
終わらぬ戦いの日々、殺戮、騙し、犯し犯される世界…。

一体を誤った他への残酷さに終わらぬ未来を見  
つくづく嫌気のさした私は、古代ふるさとの地に進路をとった。  
東へと…。

同胞のエブス族に依頼し、タルシュシュ船団を組み、和する一体の癒しの国へ向かった…。

自我の分かたれを妄信することのない、愛の気づきの国へ夢は広がった…

いどこでもある南ユダの王と、生きるについてつくづく語り  
やむなくアークと神宝、多くの財的宝を持って、東へと向かった…。



*However small it is, to have a feeling of oneness, to feel connected as one, with your beloved dog, with animals, birds, flowers, butterflies, with everything, will bring you love and peace of mind.*

その際、アッシリア捕囚で苦しんだ同胞  
北の民にも伝え尽くし、共に東を目指した。  
その時、13支族すべてが共にいた。

そして、北イスラエルの先輩でもあるエリア氏は  
東の地にすでに根ざしていたゆえに、その子孫たちからの導きもあった…。

モーゼ氏もはじめ、沢山の先人が分かたれに疲れ  
うんざりし、和する分離のない、東のムーの地を目指したのだ…。

もうおわかりだろう。私たちは一体なる神の夢、永遠なる地において  
妄想で争い続け、殺し合い、憎み合い、恨み合い、騙し合い、犯し、支配し  
みずから病んでゆくこの姿につくづく嫌気が差し、本質であるみずからの愛にそむく時  
人はみずからを罰し、滅ぼし、できれば本質に回帰させようとしてきたのだ。

その物語こそ、トーラーである…。

しかし、子どもたちよ、どんなにそれを伝え続けても  
分かたれの価値観、その妄想はとても強く  
民は道を誤り、滅びてしまう選択をするので  
くれぐれも誤ることなく創造主体の愛の夢を美しく生き  
他と見える、素粒子的に一体のすべてを愛しみ、助け、支え、生かし  
それゆえに永遠<sup>とわ</sup>を幸せに生きることを切に願うものです…。

イザヤ



*Listen, children In this one world, where no other world exists at all.  
Don 't be delusional, don 't try to win or defeat others. Don 't compare, be  
inferior, or be afraid. All of those divisions are delusional and untrue.  
Everything is only to love.*

子どもたちよ、聞きなさい。  
この一体なる世界で、他などまったくない世界で  
けっして他と妄信し、勝とうとしたり、倒そうとしたり  
比較し、劣等したり、恐れたりしてはならない。  
その分かたれのすべては妄想であり、真実ではない。  
すべては愛するのみである





*We human beings, a part of the universe, respect those who look others, in reality, one being, love people, love others, become one with everything, with animals, trees, the mountains, the rivers, feel connected with them as one. That is love, happiness, and joy. Then, our unconscious mind will be at peace, and we will truly feel satisfied.*

物語は続く…

父の葬儀の時

父の弟 おじのアキラは  
一族に伝わる秘密のルーツについて  
タケルに伝える。

おじは、みずからが中学生の時、兄タケルの父が高校生の時  
そのまた父（タケルの祖父）の淡路の実家に共にゆき  
神代に宗教の人々が井戸を掘り  
祖父の実家である神代の寺（空海設立）は  
その支援をしたことを知る…。



この物語は、タケルが父、そして祖父の一族  
1300年続く古き空海の開いたとされる寺  
そして共に存在し続けた八幡神社に伝わった伝承を元に  
淡路 神代を起点とした大和を舞台に  
古代のユダヤ、イザヤの古文書を巡り  
とんでもない真の歴史と愛について  
この闇の世界を美しく変えてしまうほどの手紙  
宝を解読している物語だ…。

タケルが父の葬儀ののちに  
このイザヤ氏の手紙を、古き倉庫から見つけた。  
そしてその伝承に触れ、タケルは、2680年の時をさかのぼった…。

それこそが、この物語がアニメーションで描かれるさだめとなったそれが  
美しき世界づくりに寄与できるのなら何より幸いであり  
この世界に生まれたことにつくづく本望であるとも感じるものだ…。

タケル

## 「愛と正義の世界をつくってゆくなかまたち」

募集します。

全人類の生きる目的は、愛へ還ることです。  
そして、愛と正義の世界をつくることです。  
美しい愛の世界をすべての生命に贈ることです。  
この物語が愛の世界をつくってゆく…。

科学的一体の愛の世界の中で、分離を信じ、楽園を出てしまったわたしたち人類。

その時から、人類は、ずっと約束の場所を見失い  
約束の場所を探し続けてきたのかもしれませんが…。  
分離の中には、人類が本当はほしかったやすらぎや安心感  
そこからくる至福はないということに気がつくことなく  
分離の世界を妄信し、今はその分離世界が極限をむかえるところまで  
限界までできてしまっているように見えます。

世界中にいるなかまたちと共にこの物語をつくってゆきたいと想います。

人類の望み、そして深きミッションは  
きっと世界中に愛の世界であることを伝え、表現し、それを可能にしてゆくことであつたでしょう…。  
それゆえに、生きることの目的は、愛の未来をつくることでしょう…。

日本から愛の世界をつくってゆく…。そして、世界を愛の世界へとリードする。

「イザヤからの手紙ーイザヤの遺言ー」にご興味があり、愛の世界をつくってゆきたいと感じ  
応援してくださる方々は、ぜひお問い合わせください。

株式会社ヒーリング

TEL: 0287-62-5281 / FAX: 0287-78-7525 / MAIL: info@healing-relax.com